

第2章 水戸線（友部～小山）

第1節 2月1日（土）：友部～大和 晴れ

友部(9:24)～宍戸(10:05)～笠間(11:20)～稲田(12:25)～福原(13:30)～羽黒(15:05)～岩瀬(15:55)～大和(16:50)

平成15年2月1日（土）、本日から2回に分けて友部＝小山間50Kmを挑戦することとした。南林間5時53分で新宿に向う。6時52分発の埼京線で赤羽に向かい、7時10分宇都宮線に乗り換え、小山に向う。途中古河駅で後から来たフェアウェイ号に抜かれる。新宿＝池袋間で車両故障があり、本来ならば今回乗った電車に比べ30分位早くでる電車であるが。古河駅で5分待ち合わせがあったため、小山駅8時14分到着のところ19分となる。急いで15番ホームの水戸線の8時23分発勝田行きに乗る。何故か電車は両毛線に比べ、最新型の車両であった。

電車から見る限り、下館辺りから筑波山を中心に山が目だって来た。小山側から見て川島駅の手前には鬼怒川が流れていた。新治と大和駅の間には沼があった。大和駅はホームが上り下り共通で1本しかなかった。無人駅も目立った。



※友部駅

友部駅には9時24分到着。駅前でペットボトルと食料を買いウォーキング開始。友部里道踏切を渡り、宍戸駅（10時5分着）に向う。宍戸駅近郊には県立友部高校の看板があった。笠間駅には11時20分到着する。この町は陶芸の町で、道路標識には「笠間芸術の森公園」や「陶芸美術館」の他、「笠間工芸の丘」の案内が目についた。11時35分昭和橋を通過する。12時、国道50号線に出る辺りで「恋は水色」の12時のメロディを聞く。少し行くと、「ザ・レイクス CC」の看板を目にするが、曲がる場所を確認できず。12時25分稲田駅に到着。駅前には石像があった。今回、仏、灯ろう、狐、ライオン等の石像がJR沿線に多々見受けられた。今日は、JR線を挟んで南北に山が

連なり、国道 50 号線を主に歩くことを余儀なくされた。昨年の両毛線の山々に比べて高くないのか、雪化粧を見ることは出来なかった。国道 50 号線を進んだため、福原駅近郊地域が国道から見えるにもかかわらず、国道から一般道に出る道が見当たらず、また 10m 位下の一般道に降りることができず。500m 位行過ぎて、やっと出口が見つかり、福原駅には 13 時 30 分到着する。駅前の「井川」と言う蕎麦屋でかつ丼を食べる。余りにも量が多く食べきれず。



※穴戸駅、水戸線車両



※笠間駅、笠間駅への路



※福原駅

福原から羽黒にかけて山登りが続く。福原駅の教訓から、極力 JR 線と国道 50 号の間を歩くよう心掛けた。途中、羽黒小学校があった。「あいさつに笑顔がはずむ羽黒の子」がこの小学校の標語となっていた。羽黒という名称が付く関取は 3 人思い浮かぶ。羽黒山、若羽黒、双羽黒。3 人ともこの近郊の生まれなのかしら。15 時 5 分羽黒駅に到着する。岩瀬町友部と青柳を通り、岩瀬町には 15 時 55 分到着する。これから、大和駅に向うのが大変であった。国道から大和という道路標識があったのでそこを左折する。この曲がりかたは実は 1Km 位早く曲がってしまったのである。ドライバーに聞いて大和駅への道を聞いて現地に向うが、林・川の障害物があり、なかなか大和駅に到着できず。案内板も正確でなかった。上下電車が来ないことを確認して、線路沿いの 10m 位の鉄橋を渡り、やっとのことで 17 時少し前、大和駅に到着する。17 時頃の電車で小山駅に向う。運良く 17 時 40 分の新宿直通の逗子行きで電車で家路に向う。町田で寄り道したので自宅には 9 時前の到着となった。万歩計は 48,870 歩となった。



※羽黒駅



※岩瀬駅

第2節 3月30日(日):大和～小山 曇り

大和(8:50)～新治(にいはり、10:10)～下館(?)～玉戸'12:50)～川島(14:07)～東結城(14:55)～結城(15:20)～小田林(?)～小山(17:20)



※大和駅、新治駅への路

水戸線の続きである大和駅＝小山駅間(25.9Km)の歩きは、昨日、天気がぱっとしなかったこともあり、平成15年3月30日(日)となった。加えて、昨日は来客がありその対応で、出発の時間が遅れた。今日は日曜日なので、本来ならば挑戦しないのであるが、昨日の夕方急遽思いついた。動機は、年度末までに区切りをつけたい意味もあるし、28日(金)は長男の卒業式出席で休暇を取らせてもらった関係で体がなまりつつあった。また、昨日床屋の主とウォーキングの話題がでたこともある。それから、花見のシーズンでもあるし、いい天気であれば自宅にいるのはもったいない。天候、体調、家事都合等から第87回目ウォーキングへの挑戦機会がなかなか取れず、実に約2ヶ月ぶりとなった。

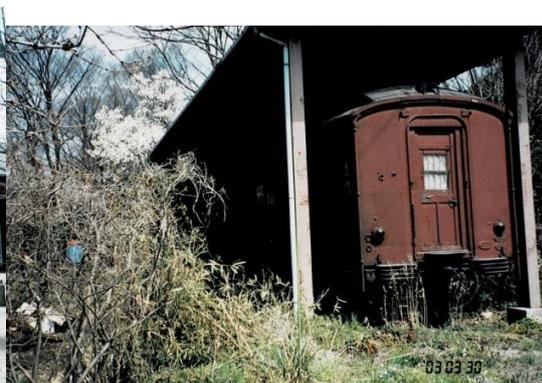


※新治駅、下館駅への路

朝、4時半頃起床し、南林間5時50分、新宿6時52分、赤羽7時10分、小山8時23分発の電車で大和に向う。大和駅には8時50分頃到着した。水戸線の電車の中で、「下館は小山から何駅ですか」と年配の女性に尋ねられる。手帳を見て、対応する。そ

の後、この女性と世間話をして、下館まで向う。座席の前には、目の不自由な人が数人いて、楽しそうな会話をしていた。全員が同じ会合に向っている感じであった。ウォーキングも 87 回にもなると、自宅近郊の JR 線は終わり、目標地点までのアクセスに時間を要する。また、電車賃も要するので、目的意識が強くないと怠けかねない。

8 時 55 分、自宅からの万歩計の歩数 1,845 を転記し、小山への挑戦となった。大和駅は最近できた駅なのか、駅前はやったりした感じであったが、コンビニ等の店は 1 件もなく、静寂さを感じさせる駅前だった。南には、筑波山を見ることができた。電車の窓から見て、大和＝新治間は丘の障害物があり、南にかなり迂回して新治駅を目指すこととなった。その分自然が沢山残っていた。途中、「石の駅」という企業があり、仏像等の石材用商品が沢山置かれていた。大国街道踏切には、10 時 4 分に着く。この踏切の手前で、「大和駅はどちらですか。」と道を尋ねられる。また、珍しく踏切で通過電車待ちとなる。新治駅に 10 時 10 分 (9,383 歩) となった。



※下館駅



※玉戸駅、玉戸駅への路

下館に向う途中、セブンイレブン（協和蓮沼店：真壁郡協和町）に立ち寄りフィルムを購入する。下館には 11 時 50 分到着。下館駅は、関東鉄道常総線の他、S L 列車で有名な真岡鉄道と連結する駅でもあった。従って、駅前には水戸線で最も賑やかさを感じた。

この駅から 15 分位歩いたところで、真岡鉄道の電車が水戸街道踏切を通過する。写真を撮りたかったが、猛スピードで通過のため撮れず。確かグリーン系の電車であったような気がする。12 時 50 分、玉戸駅の近郊のらあめん屋「ちゃあしゅう壺番」で昼食を取る。麺が手作りで美味しかった。これまでの万歩計は 26,082 歩だった。

午後は国道 50 号線を歩く。残念ながら、玉戸駅の記念写真は撮れず。川島駅ももう少しで見逃しそうになったが、行きの電車で鬼怒川を目印に記憶していた。それで、鬼怒川陸橋の手前で地図を点検することにはなったが、川に沿って 500m 位北にある川島駅（14 時 7 分到着）を見つけることができた。



※川島駅、壮台山延命寺

10 階建て位の平成ホテルの目と鼻の先にあった。途中、壮台山延命寺の桜（知られ桜か）に目を取られ、シャッターを押す。そう言えば、浅草でも長命寺という寺をお参りし、いずれも長生きに関係する名称の寺で縁起のよさを感じた。14 時 20 分鬼怒川を渡ろうとした時、上空をグライダー飛行機が通過する。3~4 回上空を回る。東結城駅の案内板を見かけたが、真直ぐな道がなく行けず。本日のスタートとなった大和駅までの道と同じであった。小埜街道踏切の右隣に東結城駅（14 時 55 分）を見つけた。無人駅であった。朝はこの駅には停車しなかったような気がする。



※東結城駅、鬼怒川界限でグライダー

結城駅には、15時20分到着(39,306歩)する。この駅も近代的な駅であった。国道50号線を歩き、小山に向う。残念ながら、小田林の交差点は確認したが、小田林駅の撮影は出来ず。今日は日曜日のため、引き返すだけの元気と余裕がない。今日が土曜日であれば、引き換えしに1時間位労力を要するが、玉戸駅と小田林駅はクリアしていただろう。



※結城駅



※小田林駅

小山駅には17時20分に着く。東口であった。西口は宇都宮線、両毛線走破の際、通過したので馴染みがあったが、東口は初めてであった。駅前の景観は、新幹線の創業に合わせてできた西口のようにゆったりとした近代的な感じと正反対であった。自転車・バス・タクシーがターミナルを占有し、ごちゃごちゃしている感じだった。

17時20分過ぎの電車でナイターを聞きながら、家路に向う。昨日は桑田で11-0と中日に快勝したこともあり、本日のナイターが始まる時間が楽しみだった。しかし、うとうとして気がついたら、木佐貫がクルーズに3ランホームランの洗礼を受けた場面で目が覚める。残念ながら、その後の中継ぎ投手が冴えず8対9で負ける。今日は、自宅には19時55分到着する。万歩計は53,549歩だった。本日で水戸線50.2Km踏破達成。同時に、友部から高碕までが繋がった。また、2年前から懸案であった水戸シリー

ズ（水戸＝石岡間）も 1 月から 3 月にかけて歩き、区切りが付いた。次回は、椎柴からの成田線かもしくは奥多摩線（青梅線）のいずれかに挑戦する予定である。いずれにしても、今日は充実した一日となった。



※小山駅（再掲）